

第 31 回電気分野産業標準作成委員会_コメント及び回答

日付:	規格番号: C60695-1-12	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	161	3.2	注釈 1		JIS C 60695-4 では“例”となっているが、注釈でよいのか	注釈 1 → 例	拝承 例 火災への薬剤（例えば、ハロンガス又は水スプレー）の適用、又は換気及び／若しくは煙の制御 注釈 1 受動的防火及び火災抑制システム参照。 C60695-4 の 3.6 にあわせて修正します。
西原	409			ed	「恐らく」の文言は、必要ですか？あやふやな感じがします。	「恐らく」は削除する	原文の「probably」の訳を「多くの場合」とし、「このプロセスは、多くの場合、建築設計、構造設計、換気、配管、電気設備など、たくさんの異なる課題を包含する。」 に修正します。
西原	420			ed	「統合されたコンピューター・プログラム・・・」とありますが、具体的に何を統合したのか書いてないので、分かりにくい。		ひとつ前の段落の「コンピューター・モデル」を活かして、「コンピューター・モデルを必要とするレベルでは、」 に修正します。
西原	643			ed	「・・・させるか、又は新しい試験を開発する・・・」の「か」を削除する	「・・・させる、又は新しい試験を開発する・・・」242 行目では「か」は入っていない。統一する。	JIS Z 8301 では、「…するか、又は…する」と記載しています（13 か所）。これらに合わせて、そのままとさせていただきます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

第 31 回電気分野産業標準作成委員会_コメント及び回答

日付:	規格番号: C60695-1-20	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	648	A.2.2	タイトル		637 行目の表現と違うのは、何か意味があるのか	非徹底リスト → 非網羅的リスト	拝承

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

第 31 回電気分野産業標準作成委員会_コメント及び回答

日付:	規格番号: C60068-2-14	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	168	5.6	第 1 段落		“次のように”とあるが、“次”がどこを示しているか判らない。 第 2 段落の、“二層式の試験方法だけに適用する”と記載されているが、時間の延長に関する記載ではない 移し換える時間についての記載は、7.2.5 b)の注記 7、注記 10 にある	次のように延長 → 延長	記載は英文の直訳で紛らわしいので、修正いたします。 ×「次のように延長」 ○「次の不等式で示すように延長」
加藤	300	7.2.5 a)	第 3 段落		図 7 だと最初に TA、次に TB という温度変化なので、図示に合わせてはどうか (TA から TB の ts の説明は 303 行目の後の方がよいと思われるが)	高温試験温度 TB から低温試験温度 TA までの安定化 → <u>低温試験温度 TA</u> から <u>高温試験温度 TB</u> までの安定化	7.2.5 a)では 292 行から「低温試験温度 T_A を、規定のさらし時間 t_1 の間維持する」期間について、続いて 304 行から「高温試験温度 T_B を、規定のさらし時間 t_1 の間維持する」期間について、記載しています。従って、300 行目の「安定化に要する時間 t_s」は、対応国際規格に従って「高温試験温度 TB から低温試験温度 TA までの安定化」に要する時間となります。 この記載順序は、対応国際規格のとおりサイクル順に従っており、このままとします。
加藤	307	7.2.5 a)	第 6 段落		300 行目のコメントと同様に、TB から TA の温度変化の方が後に図示されているので、それに合わせてはどうか	低温試験温度 TA から高温試験温度 TB までの安定化 → <u>高温試験温度 TB</u> から <u>低温試験温度 TA</u> までの安定化	307 行目は、対応国際規格に従って、「高温試験温度 TB を、規定のさらし時間 t_1 の間維持する」期間の安定化時間 t_s を記載しています。従って、307 行目の「安定化に要する時間 t_s」は「低温試験温度 TA から高温試験温度 TB までの安定化」に要する時間となります。 この記載順序は、対応国際規格のとおりサイクル順に従っており、このままとします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

第 31 回電気分野産業標準作成委員会_コメント及び回答

日付:	規格番号: C60068-2-14	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	321	7.2.5 b)	第 3 段落		図 8 だと TA から TB までの温度変化の方が先に図示されているので、それに合わせてはどうか (TA から TB の ts の説明は 329 行目の後の方がよいと思われるが)	供試品を高温槽から低温槽に移し換えてから低温試験温度 TA までの安定化 → 供試品を低温槽から高温槽に移し換えてから高温試験温度 TB までの安定化	7.2.5 b)では 316 行から「低温試験温度 TA を、規定のさらし時間 t1 の間維持する」期間について、続いて 324 行から「高温試験温度 TB にさらす」期間について、記載しています。従って、321 行目の「安定化に要する時間 ts」は、対応国際規格に従って供試品を高温槽から低温槽に移し換えてから低温試験温度 TA までの安定化」に要する時間となります。 この記載順序は、対応国際規格のとおりサイクル順に従っており、このままとします。
加藤	334	7.2.5 b)	第 7 段落		321 行目のコメントと同様に、TB から TA の温度変化の方が後に図示されているので、それに合わせてはどうか	供試品を低温槽から高温槽に移し換えてから高温試験温度 TB までの安定化 → 供試品を高温槽から低温槽に移し換えてから低温試験温度 TB までの安定化	334 行目は、対応国際規格に従って、「高温試験温度 TB にさらす」期間の安定化時間 ts を記載しています。従って、334 行目の「安定化に要する時間 ts」は「高温試験温度 TB までの安定化」に要する時間となります。 この記載順序は、対応国際規格のとおりサイクル順に従っており、このままとします。
西原	157	5.5	b)		「 ΔT_s が 5 K 以内となる」の記載は、C60068-2-14 では「3 K から 5 K 以内」となっていると思いますが、国際規格との整合性等で変更になったのでしょうか。確認です。		対応国際規格の改訂において「within 3 K to 5 K,」から「within 5 K,」に変更された結果を反映しています。
西原	164		図 1	ed	図に記載されて ΔT_s だけが縦書き表示されており、横書きにした方が見やすい。		横書きに修正いたします。
西原	169			ed	t 2 と t s の記載追加。この方が分かりやすいと思います。	「t 2 : 移し換え時間、t s : 供試品の温度が安定するまでの時間」を追加記載	168 行目に次の記載を点下線で強調して追加します。 「…，移し換え時間を， <u>供試品の温度が</u>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							安定するまでの時間 t_s に応じて... 次のように延長することが可能である。」
西原	278		図 6	ed	図に記載された ΔT_s だけが縦書き表示されており、横書きにした方が見やすい。		横書きに修正いたします。
西原	294		図 7	ed	同上		横書きに修正いたします。
西原	344		図 8	ed	同上		横書きに修正いたします。
西原	419		図 9	ed	0. 1 D、 $\pm\sigma T_{const}$ などが縦表示になっているが、横書きにした方が見やすい。		横書きに修正いたします。
西原	425～ 430			ed	各文の前に「・」「―」などを入れてるか、あるいは、番号付ける。手順に沿って、箇条書きにした方が読みやすい。		425 行～429 行の 5 段落の先頭に「―」を挿入して細別に変更いたします。
西原	564		図 C. 1	ed	図に記載されている 1 4 K、 $\pm 10. 5$ 、 ± 2 K が縦書きになっているが、横書きに揃えた方が見やすい。		横書きに修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

第 31 回電気分野産業標準作成委員会_コメント及び回答

日付:	規格番号: C60068-2-17	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	169	3.12			他の定義語では“<>”が用いられている。合わせた方がよいのではないか	(試験 Qm に適用) → <試験 Qm に適用>	ご指摘に同意し、修正します。
加藤	176	箇条 4	図 1		他の箇所と下付き添字が違う (i と l)	加圧液体 Qi → 加圧液体 Ql	加圧液体 Ql が正しい。 修正します。
加藤	530	9.7	注記		該当する箇所がないので、注記の 1 文目を削除、又は、該当する箇所に点線下線を引く	“9.7 の点線の下線を施してある箇所は、適用箇条が明らかな間違いのため、修正した。”を削除	9.5.5 及び 9.5.5 に点線下線を追加する。
西原	246			ed	中頃「液体を排除できるか、又は供試品を液体から・・・」の「か」を削除して統一	「液体を排除できる又は供試品を液体から・・・」 C60695 - 1-12 のコメントと同様に表現統一	ご指摘の記載方法に明確な規則はありませんが、動詞を「又は」で接続する場合、「…するか又は…する」「…するか、又は…する」と記載するとの JIS Z 8301 の表現形式に合わせて、このままとさせていただきます。
西原	487				式の数値：7.2 について、C 60068-2-17:2001 では 2.7 になっている なぜ、違うのかの確認です。調べたのが誤ったデータだったら、ご容赦ください。 「C 60068-2-17:2001 では、7.2 になっていたようですが、今回は 2.7 になってる」が正しい記載でした。私が調べたものが間違っているのだと思いますが、改めて、ご確認をお願いします。		式（2）も数値は 2.7 です。見間違いではないでしょうか、あるいは文字化けが生じたのかもかもしれません。再度、ご確認下さい。 C60068-2-17:2001 の該当箇所と思われる箇所を切り取り添付しました。7.2 ではなく、2.7 でした。 式で 7.2 が出てくる箇所はないようです。 C60068-2-17:2001 の該当箇所の箇条番号を教えてください。
西原	695		図 3	ed	図の中の Δp が縦に表示されているが、横に表示して他と合わせた方が見やすいです。		同意して修正します
西原	589				「約 10-8 Pa・m3/s より大きい」の記載。C 60068-2-17:2001 では、「約 10-2 Pa・m3/s 以上」と記載されている。これは、国		確認しました。 現行 JIS（2001 年版）の明らかな間違い

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上
 *欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。
 コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					際規格に合わせる等による変更でしょうか。一応、確認です。		いです。対応国際規格（1994 年）は、 "approximately 10 ⁻⁸ Pa・m ³ /s" となっていることを確認しました。
本吉	175	4	図 1	ge	図中右下の「加圧液体」が Qi と記載されているが、181 行目や 532 行目等の記載から Qi ではないか。	Qi とする。	間違いであることを確認しました。同意して修正します。
本吉	1116	付属書 H	図 H.1	ge	図 H.1 のタイトルが「試験装置、測定容積及び排気時間の寸法が一定の場合の、測定容積対試験時間の圧力の極限状態場合」となっており、「場合」が重複していて、分かりづらくなっていないか。	「試験装置、測定容積及び排気時間の寸法が一定の場合の、測定容積対試験時間の圧力の限界ケース」とする。	本文の 1113 行目で 「非常に漏れやすい供試品で与えられる、測定容積対試験時間の圧力の限界ケースについては、図 H.1 を参照。」 としている。 従って、指摘に同意して修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	288			ed	「・・・腐食を引き起こすか又は促進する可能性」の記載は、 168 行目の記載と合わせて、「か」を削除	「・・・腐食を引き起こす又は促進する可能性」にする	ご指摘の記載方法に明確な規則はありませんが、動詞を「又は」で接続する場合、「…するか又は…する」「…するか、又は…する」と記載する JIS Z 8301 の表現形式に従って、「か」を付けています。 168 行目は名詞を「又は」で接続している箇所、通常とおり「か」は付けていません。 また、併記する項目が複雑な場合、「又は」の前に「コンマ」を付けています。 以上から、現状の記載を維持いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	170	5.7	表 1		日射の 4K25 と、4K26 及び 4K27 との上付き添字が異なるが、どちらが正しいか？	4K25 l) 4K26、4K27 i) → l) ？	4K26、4K27 の i)を l)に 修正する。
本吉	170	5.2	表 1	ge	表中の環境パラメータ「日射」屋外 4K25 の注が 1090 ^{l)} となっているが、4K26、4K27 と同様に 1090 ^{l)} ではないか。 また、この場合、注 l)に該当する箇所がなさそうであるが、削除してはどうか	1090 ^{l)} とし、注 l)を削除する。	対応国際規格を確認しました。 4K25 及び 4K26 の i)が間違いで l)が正しい。 4K25 及び 4K26 の i)を l)と修正する。 従って、注 l)も必要。
本吉	170	5.2	表 1	ge	表中の環境パラメータ「積雪荷重」屋外 4K26、4K27 注 g)は f)の間違いではないか。	それぞれを f)に修正する。	対応国際規格で確認しました。g)で間違いありません。
若月	214、 216			ge	「修正メルカリ指数」についてネットで検索したところフリマのメルカリに関する指数との解説があり、この J I Sでの内容と一致しないようでした。他に探してみたところ「修正メルカリ震度階」という用語があり、こちらがピッタリのようでした。「修正メルカリ指数」と「修正メルカリ震度階」は同じ意味を持つものとしてどちらを使っても差し支えないのでしょうか？		対応国際規格で、"Modified Mercalli index(MMI)"となっているため、修正メルカリ指数としました。 若月委員が書かれているように、modified Mercalli intensity scale と表記されることが多く、MMI と略されます。 どちらも同じものです。
若月	221		表 B.1	ge	同上		同上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。